

セミナー開催レポート

「工場を、誇ろう。」——製造業の未来モデルをどう描くか

～AI時代に生き残るのは「誇り」を持つ企業か～

人手不足が深刻化する中、地域産業や中小企業はどのように人材を確保し、育てていくべきか。株式会社コプレックの小林永典氏を迎え、**人材や働く環境への投資**を行い、**働きがいのある職場環境の実現**の取り組みについて学びました。本レポートでは、講演の要旨、および中小企業における人材の確保・育成・定着における実践的なヒントをお伝えします。

登壇者：小林 永典 氏（コプレック株式会社 代表取締役社長）
静岡県掛川市に所在する精密板金加工を生業とする企業
「工場を、誇ろう。」を企業理念に掲げ、従来の製造業のイメージを刷新し、令和7年Forbes JAPAN「多彩な新・起業家たち100人」に選出



■ 理念（ビジョン）が職場環境を変える



工場に来客する取引先だけでなく、「家族や恋人が来ても**恥ずかしくない工場**」を目標に組織づくり実施。

小林氏は長年「工場で働く人たちへの扱い」について問題意識を抱えており、ものづくり従事者のプライドを高め、製造業全体の地位向上のため、従業員へのソフト面ハード面様々な投資を推進。

- ・従業員が家族や大切な人に尊敬されるための制度
 - ・ものづくりを楽しむ自由な発想ができる環境整備
 - ・工場の魅力を再整理し、クリエイターとデザイン
- その結果、**求職者数が2年で3.5倍**となった。

■ なぜ「誇り」が必要なのか

その理由は、企業の中長期的な「**業績**」に与える影響を無視できないため。

AIの登場により、ホワイトカラーの仕事の多くがAIに移行することは予想されているが、ブルーカラーの構造の変化も示唆。AI（デジタル）を活用した製造者による高付加価値のものづくり「**ハイスペックブルーカラー**」の登場を予想。

また、企業においても企業理念の重要性が高まっており、「**会社的人格**」にも注目が集まっている。

人材確保の面でも、求職者はAIに企業情報を尋ねることも増えており、表面上だけでなく、**本当の意味で人に選ばれる企業になる必要**がある。



■ 人材や働く環境への投資を進めるためのヒント

小林氏は、ものをつくる人のプライドを高め、日本全国の製造業の地位向上を目的に、一般社団法人Factory Pride Associationを設立。同じ志を持つ企業同士の情報交換や交流を推進し、業界全体の変革の土台を築くことを目指しており、取り組みに参画することで「自社なら何ができるか」を考えるきっかけになるかもしれません。



■ 燕市はこんな支援を行っています

・ 企業の課題の把握や、解決に向けた計画策定支援 **【NEW】**

企業が変化を進める第一歩を後押しするため、課題把握や解決に必要な計画策定等の費用を補助します。

- ・ **対象経費**：ロードマップ等作成にかかるコンサルティング費用
- ・ **補助内容**：対象経費の1/2以内、上限20万円
- ・ **受付期間**：令和8年4月1日（水）～令和8年11月30日（月）

・ 課題解決や新たな取り組みをサポートする専門人材活用支援

課題解決のための専門人材とのマッチングを支援しています。

ご相談は地域の人事部@燕 事務局まで。TEL:0256-77-8231

マッチングの流れや事例はこちらから ⇒ <https://tsubame-jinji.studio.site/>



・ 働きやすい職場環境づくり支援

働きやすい職場環境整備と人材の確保及び定着を図ることを目的に、工場などの男女別のトイレ・更衣室・休養室等の整備に対する経費を補助します。

- ・ **対象事業**：男女別トイレの設置、男女別更衣室の設置、男女別休養室の設置など
- ・ **補助内容**：対象経費の1/2以内、上限50万円
- ・ **受付期間**：令和8年4月1日（水）～令和8年12月25日（金）

その他の支援はこちらからご覧ください

⇒<https://www.city.tsubame.niigata.jp/kogyo/shien/sientiran/index.html>



お問い合わせ先：燕市役所 商工振興課

TEL:0256-77-8231 MAIL:shoko@city.tsubame.lg.jp